

—痴呆のあるワンちゃん 心臓病と腎臓病と闘う リコちゃん—

15歳の高齢犬リコは、以前から気功でお世話になっていて、子宮蓄膿症と卵巣嚢腫の病気になる、腹痛もひどく緊急に手術をしないとイケない状態で獣医からも高齢と心臓の状態も良くないため、手術に耐えられないかもしれないというのがきっかけでした。

無事、手術は成功して、遠隔で気を送ってもらいながらの治療となりました。

少しずつ食事もとれるようになりましたが、高齢犬ということもあり手術の負担はかなり大きく、術後も体調を崩したり、骨が歪み歩くこともできなくなりましたが、遠隔での気を送っていただいて、骨格のバランスを整えてもらうと次の日には、いつもどおりにスタスタと歩くことに驚きながら定期的に治療をお願いしています。

痴呆があり、時々くるくると回るのですが、定期的に何度も遠隔をつづけることで、きちんとまっすぐ歩くようになり、ホッと安心しました。